

2013 年度 グリーン購入ネットワーク（GPN）事業計画

2013.03.22

第 92 回 GPN 理事会

平成 25 年度のグリーン購入を取り巻く情勢

地球環境問題は、地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の危機など、様々な分野で深刻化しつつあります。昨年 6 月開催された「リオ+20」では、これらの課題にいかに対処していくかが議論され、世界が持続的に成長するためには、環境と経済を両立させるグリーン経済への移行が不可欠との認識のもと「成果文書」の中にグリーン経済への移行が盛り込まれました。これを受け、平成 25 年度は世界的なグリーン経済への移行が一段と加速することが予想されます。世界的なグリーン経済への移行を実現するためには、グリーン市場の拡大が不可欠です。グリーン市場の拡大にあたっては、企業からの環境配慮型製品・サービスの提供はもとより、消費者が率先して環境負荷の小さな製品・サービスを環境負荷低減に取り組む事業者から優先購入するというグリーン購入の普及・拡大は必要不可欠であり、環境と経済を両立させる有効な手段として世界各国に広まっていくことが期待されます。

基本的な考え方

このような状況下、平成 25 年度のグリーン購入ネットワークの事業計画は、一昨年に改定したミッション、ビジョンに沿って策定された 5 つの重点施策に基づき立案しました。国内外を問わず、グリーン経済への移行が検討される中、グリーン購入ネットワークは、今こそ環境と経済の両立を図り、持続可能な社会の実現に寄与するグリーン購入の実践を力強く推進していかねばなりません。今年度は、現状の取り組みに満足することなく、製品環境情報の提供内容・方法の見直し、グリーン購入の取り組みレベルを向上させるための仕組み構築、取り組みの継続と質的向上を促していくため地域ネットワークと連携し、人材育成の取り組みを実施します。

また、企業においては経済のグローバル化に伴い、サプライチェーンが海外につながる機会が増加しつつあります。国や地方公共団体においても制度・政策等の策定にあたっては、世界の流れを踏まえた施策の立案が求められるようになっていきます。これらの状況を踏まえ、グリーン購入ネットワークとして、国内外のグリーン購入に係る情報を地域ネットワーク、国際グリーン購入ネットワーク等を通じて収集し、整理・分析を行い、会員の皆様に活用していただけるよう積極的な情報発信に努めます。

尚、これらの取り組みを推進するにあたっては、限りある「ひと、もの、かね、情報」を念頭に、事業の選択と集中、業務の効率化を図ります。

平成 25 年度の重点取り組み

GPN のミッション・ビジョンに基づく重点施策

- 重点施策 1．製品・サービスに関して信頼できる環境情報を整備し、購入者が便利に利用できる仕組みを提供する。
- 重点施策 2．全ての組織加入者、個人消費者がグリーン購入の重要性を理解し、実践し、拡大・深化させる様々な支援を行う。
- 重点施策 3．環境に配慮した製品・サービスの購入や製造を促進するための政策提言を行う。
- 重点施策 4．地域ネットワークとの連携強化により、地域で先進的なグリーン購入の取り組みを創出し、全国に普及する。
- 重点施策 5．IGPN を通じて各国 GPN と協働し、互いの先進的取り組みを共有する。

➤重点取り組み事項 1

- ・ガイドラインのあり方の検討及び新規制定（輸配送）
- ・「エコ商品ねっと」を通じた発信する製品環境情報提供内容の検討と掲載品目の増加

➤重点取り組み事項 2

- ・自らのグリーン購入の取り組みレベルが評価出来るシステムの構築
- ・研修会の定例開催（地域ネットワークとの連携による研修内容のパッケージ化推進）
- ・全国フォーラム、グリーン購入大賞の運営方法の見直し

➤重点取り組み事項 3

- ・グリーン購入法の定期見直しに際し、会員からの意見集約を行い具体的な提案を行う

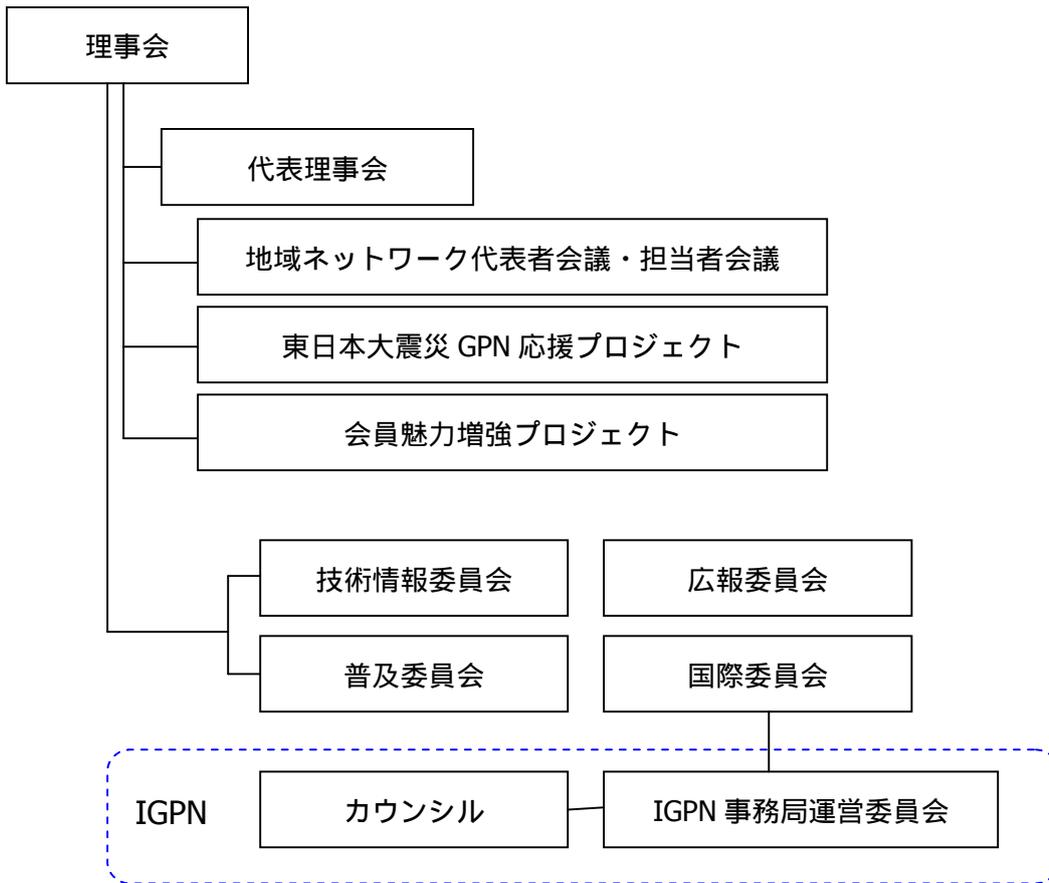
➤重点取り組み事項 4

- ・地域ネット代表者会議、担当者会議を通じた情報の共有と地域ネットワークとの連携による新たな研修会の開催

➤重点取り組み事項 5

- ・各国 GPN との連携により、国内の会員企業のアピールの場の提供機会の創出を検討
- ・IGPN として UNEP が設置した SPPI へ参加したことを受け、日本の取り組みを広く世界に情報発信するとともに、各国の情報収集を行い会員との情報共有
- ・第 4 回グリーン購入世界会議への参画

運 営 体 制



【会議】

事業名	事業内容
理事会	年 3 回（7 月、11 月、3 月）開催する。
代表理事会	原則、年 6 回開催する（必要に応じて臨時召集）。
地域ネットワーク担当国会議	年 4 回開催する（原則、テレビ会議）。
地域ネットワーク代表者会議	年 2 回開催する。
技術情報委員会	毎月開催する。
普及委員会	毎月開催する。
国際委員会	隔月で開催する。
広報委員会	隔月で開催する。
東日本大震災 GPN 応援プロジェクト	必要に応じて適宜開催する。
会員魅力増強プロジェクト	必要に応じて適宜開催する。
IGPN 事務局運営委員会	積極的に参加

事業の詳細

重点施策 1．製品・サービスに関して信頼できる環境情報を整備し、購入者が便利に利用できる仕組みを提供する。

事業名	事業内容
購入ガイドラインの策定・改定	<p>グリーン購入ガイドラインの策定及び改定を行う。着手済みのガイドラインの策定、改定を行う。</p> <p>[新規]: 輸配送 [改定]: パソコン、自動車、印刷情報用紙 上記 4 つはいずれも 7 月制定・改定予定</p> <p>2013 年度は、グリーン購入ガイドラインのあり方や新たなガイドラインの策定・改定について検討。</p> <p>< 背景 > グリーン購入法やエコマーク等環境配慮型製品に関する様々な基準がある中で、グリーン購入ガイドラインの認知度の相対的な低下があり、他の基準とのすみ分けやグリーン購入ガイドラインの役割の見直しが必要。</p>
エコ商品ねっとの運用	<p>「エコ商品ねっと」を通じた製品の環境情報の提供を行う。</p> <p>商品分野及び事業者別掲載数の動向を分析し、掲載数の増加に向けた呼び掛けを行い、掲載商品数 16,000 商品以上を目指す。</p> <p>ガイドライン未策定分野やグリーン購入法適合商品を中心に、情報の信頼性を高める方法（入力フォーマットやチェック体制の見直し等）の検討を行う。</p> <p>「特定調達物品等の表示の信頼性確保に関するガイドライン検討会（環境省）」の動向を把握する。</p>
エシカル購入研究会	<p>2012 年度に IGPN が実施した「エシカル購入研究会」の事務局を担う。</p> <p>定例研究会の開催（5 月、7 月、11 月） 他</p>

重点施策 2．全ての組織加入者、個人消費者がグリーン購入の重要性を理解し、実践し、拡大・深化させる様々な支援を行う。

事業名	事業内容
グリーン購入大賞	<p>第 15 回を実施し、農林水産大臣賞を新たに設ける（調整中）</p> <p>表彰式をエコプロダクツ展（メインホール）で実施し、会議等で事例発表会を開催する。（調整中）</p>
全国フォーラム	<p>北海道（2 月）の開催を検討する。</p> <p>会場費や講師の交通費等は札幌市等からの助成金を充当することを想定する（調整中）</p>
一斉行動キャンペーン	<p>「容器包装を減らす工夫」をテーマに 6 月に実施する。</p> <p>「容器包装を減らす工夫マップ」の掲載を継続し、商品情報を通年投稿できるようにする。</p> <p>期間を限定して、「容器包装を減らす工夫」に関する商品情報提供の後押しやレジ袋を断った回数の可視化などをキャンペーンとして実施し、マップの活用を盛り上げる。</p>
環境教育	<p>出前授業の実施</p> <p>研修会の実施</p> <p>会員担当者向け（地域ネットワークと連携）</p> <p>埼玉 GPN、北海道 GPN で試行し、他の地域ネットワークにも水平展開して実施する。</p>

	環境マイスター研修（秋田、山形、東京、神奈川、滋賀）への講師派遣
取り組み評価手法の作成	グリーン購入の取り組み評価指標の作成し、会員や社会のグリーン購入の取り組み度評価の仕組みを構築する。 普及委員会の下に設ける検討会及び TG（タスクグループ）で検討することを想定。

重点施策 3．環境に配慮した製品・サービスの購入や製造を促進するための政策提言を行う。

事業名	事業内容
政策提言	グリーン購入法の定期見直しに際し、会員からの意見集約を行い、具体的な提案を行う。

重点施策 4 地域ネットワークとの連携強化により、地域で先進的なグリーン購入の取り組みを創出し、全国に普及する。

事業名	事業内容
代表者会議	地域ネットと全国との連携や地域におけるグリーン購入の普及・浸透を図るための戦略等の検討を行う。 2 回開催する。
担当者会議	各地域ネットワークが持つ運営に関するノウハウやツール等の情報交換、意見交換を通じた取り組みの共有化を図る。 4 回開催し、原則 TV 会議による運営とする。 リコーの TV 会議システムの利用（43 万円/年程度）を想定する。

重点施策 5．IGPN を通じて各国 GPN と協働し、互いの先進的取り組みを共有する。

事業名	事業内容
第 4 回グリーン購入世界会議	2013 年 8 月 22～24 日にマレーシアで開催される第 4 回グリーン購入世界会議において、GPN の活動成果及び戦略を情報発信する。
グリーン購入支援計画	タイやマレーシア、インドネシア等の市民啓発を行うために、GPN 及び地域ネットワークの活動実績を基に会員企業から講師派遣を検討する。 < 背景 > GPN および IGPN の会員企業の取り組み及び成果を紹介することで、新たなビジネス機会を提供する。
SPPI への活動支援	IGPN として UNEP が設置した SPPI へ参加したことを受け、日本の取り組みを広く世界に情報発信することで環境配慮製品の販売機会の増大を側面支援

重点施策 1～5 の活動成果を広く会員に公表する。

事業名	事業内容
ニュースレター	年 4 回発行する。
チラシ同封サービス	ニュースレターの発行に合わせたチラシ同封サービスを実施する。
エコプロダクツ展	エコプロダクツ 2013 へ出展する。 GPN 会員や環境ラベル団体との共同出展等、出展方法を検討する。
ホームページ	ホームページの運営・更新をする。 HP バナー広告の実施
メールマガジン	メールマガジンを週 2 回発行する。

facebook、twitter	ニュースレターやホームページ、メールマガジン等と連動した運営・更新を行う。
------------------	---------------------------------------

【担当：東日本大震災 GPN 応援プロジェクト】

事業名	事業内容
東日本大震災 GPN 応援プロジェクト	GPN の特性を活かした東日本大震災の被災地域への継続的支援を検討する。

【担当：会員魅力増強プロジェクト】

「魅力ある GPN に向けた戦略検討 WG」をベースに、入会につながる取り組みを展開する。

事業名	事業内容
会員管理	会員情報の管理・更新等を行う。 会員証の発行を検討する。
新規入会促進	業界別入退会状況の整理し、新規入会促進に向けた戦略、活動を検討し、該当する委員会と連携して実施する。